

鳥取県における食物アレルギー実態調査

【食品衛生室】

岩永千歳 若林沙織

【概要】

鳥取県内における食物アレルギー患者も全国的な状況と同じく増加しているといわれている。しかしながら、県単位で行った調査は今までになく、今後アレルギー関係の検査及び研究を進めていくにあたり、県内全域の食物アレルギーの傾向を知る必要がある。そこで、幼児から児童及び生徒を対象とした食物アレルギーのアンケートによる実態調査を行った。その結果、アレルギー症状の原因食品は、最も多いものが卵であり、エビ・カニ、牛乳と続いた。また、保護者を対象とした健康食品に関するアンケートも同時に行ったのであわせて報告する。

1 はじめに

食物アレルギーとは、食物に含まれるタンパク質を生体内で異物と認識し、異常な免疫反応を起こすことから生じる。

食物アレルギー症状を有する人は、全国的に増加傾向にあり、その対策が急がれている。また、加工食品のアレルギー表示も特定5品目（卵・乳・小麦・そば・落花生）については、表示が義務化され、特定原材料に準ずるものとして20品目（あわび・いか・いくら・えび・オレンジ・かに・キウイフルーツ・牛肉・くるみ・さけ・さば・大豆・鶏肉・バナナ・豚肉・まつたけ・もも・やまいも・りんご・ゼラチン）の表示が推奨されている。これにともない、平成17年度から、当所でも加工食品を対象としたアレルギー表示の確認検査を行っている。

これらの検査や研究（アレルギー症状を抑制する食品の検索）を進めていくにあたり、鳥取県内の食物アレルギーの実態を把握するため、アンケート調査を行った。また、あわせて、食品表示や健康食品に対するアンケートも行った。

2 目的

県内の食物アレルギー患者の傾向及び特性を把握することにより、鳥取県の食物アレルギーの傾向に即した調査研究（アレルギー症状を抑制する食品の検索）を進めるための基礎資料とする。

3 方法

（1）調査対象及び方法

食物アレルギーについての質問は、鳥取県内の私立幼稚園、公立幼稚園、保育園、小学校及び中学校（以下「学校等」という。）に通園、通学している者を対象とした。回答は保護者とし、趣旨に賛同していただける方に対してのみ行った。

食品表示・健康食品等についての質問は、保護者の意見として記入してもらった。

アンケート用紙の配布及び回収は、市町村教育委員会あるいは学校等に依頼した。なお、各学校等の協力体制に応じて、アンケート用紙の全員配布、アレルギーを有する子だけに配布、学校等からの回答（学年と原因食品のみ）の3とおりの形式とした。

（2）調査時期

平成17年7月から9月

（3）回収票

7060票が回収でき、うちアレルギーを有する子からの回答は1163票であった。

ただし、この数字はアレルギー保有率とは一致しない。

4 調査項目及び結果（グラフ参照）

（1）対象者の属性（質問1、2）

対象者の性別

男子が55%を占め、女子よりやや多かった。

対象者の年齢

保育（幼稚）園児が最も多く、73%を占めた。

食物アレルギーの発症時期

最近発症した時期は、1年より前が69%を占めた。

(2) 食物アレルギーの症状等

以下の質問に対しては、アレルギーをもつ子からの回答数を100として表している。

食物アレルギーの原因食品（質問3）

原因となる食材のうち、最も多かったのが卵で、エビ・カニ、牛乳という順であった。

詳細に見ると、エビ・カニについては、卵や牛乳と比較して、小中学生の割合が多くなっており、年齢が高くなるにつれて発症することが考えられた。

食物アレルギーの症状（質問4）

食物アレルギーの症状を尋ねたところ、じんましん、しっしんが多かった。

食物アレルギーが起こる頻度（質問5）

一度もしくは数度食べて症状が出たので、それからは食べていないという人が最も多かった。

食物アレルギーの発症場所（質問6）

食物アレルギーの発症場所は、自宅が最も多かった。

アレルギー症状が出た食品（質問7）

アレルギー症状を起こした食品は、包装されている加工食品が最も多かった。その他が多くなっているが、食材そのもの（果物や野菜など）のほか家庭で調理した食品が多く占めていた。

(3) 医療機関受診の有無（質問8）

医療機関を受診し、食物アレルギーと診断された人が多かった。

(4) 食物アレルギーについて気をつけていること（質問9）

食物アレルギーへの対処法としては、特に何もしていない人が多かった。学校給食での除去をしている人が多く、その他にはアレルギーを含む食品はいっさい食べないという人も多かった。

(5) 保護者の属性（質問10）

保護者の性別

回答者の98%が女性であった。

保護者の年齢

30代が最も多く、67%を占めた。

(6) 表示について

以下の質問については、アレルギーのある子の保護

者（以下「ある人」という。）とアレルギーのない子の保護者（以下「ない人」という。）に分けて集計し、それぞれ回答のあった数を100として表した。

加工食品の表示について（質問11）

必ず見る・よく見る人の割合が、ある人で54%と半数以上を占めているのに対し、ない人では41%であった。

表示を見る 目的（質問12）

最も多かったのが原材料表示であり、ついで添加物表示であった。食品に含まれる材料等への関心が高いことがわかった。また、ある人とない人で顕著に差がみられたのが、アレルギー表示であり、ある人のうち48%の人がアレルギー表示を確認していた。

アレルギー表示の認知度（質問13）

アレルギー表示について知っているかどうかについては、ある人では73%の人が知っていると回答した。

表示を不安に感じる食品（質問14）

表示に対して不安を感じる食品については、ある人もない人もほぼ同じ傾向が見られ、そうざい、レトルト食品、菓子類が多かった。

(7) 健康食品について

保健機能食品について（質問15）

保健機能食品の認知度については、知っている人が7割以上を占めた。

アレルギー症状を抑える健康食品について（質問16）

アレルギー症状を抑える食品について、半数以上の人が、利用したいと考えていた。

利用したいと答えた人のうち、効果があれば試してみたいという人が最も多かった。

利用したくないと答えた人のうち、健康食品に頼りたくないという人が最も多かった。

(8) 自由記載（意見・要望）

自由な意見や要望を記載してもらったところ、アレルギーに関することが最も多く、ついで行政に対する意見や要望、食品表示という順であった。

5 まとめ

(1) 食物アレルギーについて

食物アレルギーの傾向は、鳥取県内においても全国的にみた場合と大きな差はなかった。

今回の調査は、自己申告によるものであったため、アレルギーではない場合も含まれている可能性はあるが、食物アレルギーに対応した体制を整えていくことが必要である。

また、自由記載欄への書き込みも多くあり、食物アレルギーに対する疑問や不安があることがわかった。

食品表示についての関心も高く、特にアレルギー表示については、消費者の求める表示を実施するためにはいくつかの検討が必要であることがわかった。

現在の表示制度では、包装してある食品についてのみアレルギー表示が義務づけられている。対面販売（製造場所と販売場所が同じ形式）のものや飲食店では表示は義務づけられていない。しかし、販売者に聞いてもアレルゲン含有の有無がわからなかったり、まちがっていたりという場合もある。アレルギー患者はすべての食品についてのアレルギー表示制度を求めていることがわかった。

食品の表示は、充実してきたという意見がある一方で、わかりにくい、見にくいという意見も多い。アレルギー表示の部分の色を変えてほしいなど、わかりやすく一目でわかる表示が求められている。

また、「同じ施設で を製造しています。」等の混入を暗示させる表示についても、肯定的・否定的どちらの意見もあった。

子供のアレルギーについて、悩んでいる保護者の方も多い。どこに相談していいのかわからない、また、アレルギーへの対処法も病院によって異なるなど相談できる場所が求められていることがわかった。

給食に対しての意見も多く、保育園（幼稚園）では除去食で対応してもらっているが、小学校ではどうしたらいいのか、メニューの作り方など教えてほしいという意見もあった。

(2) 健康食品について

アレルギー症状を抑制する健康食品があれば、利用したいと思っている人が約半数を占めていた。

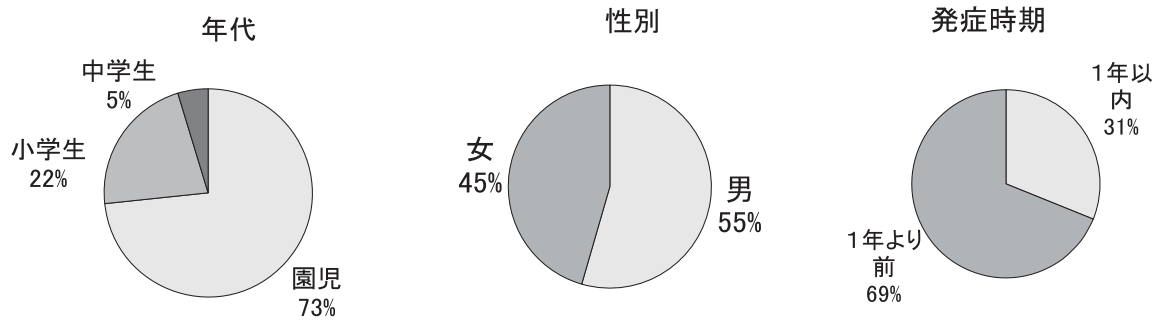
健康食品と聞くと抵抗を感じる人もあり、人工的なものではなく、自然に存在するものでアレルギー症状の抑

制あるいは改善に効果が期待できるものが求められていることがわかった。

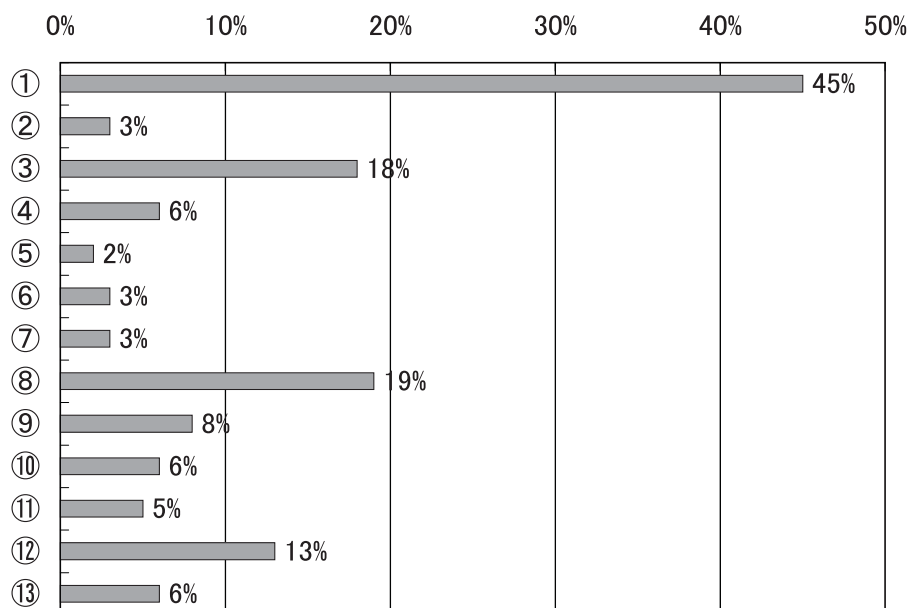
6 謝辞

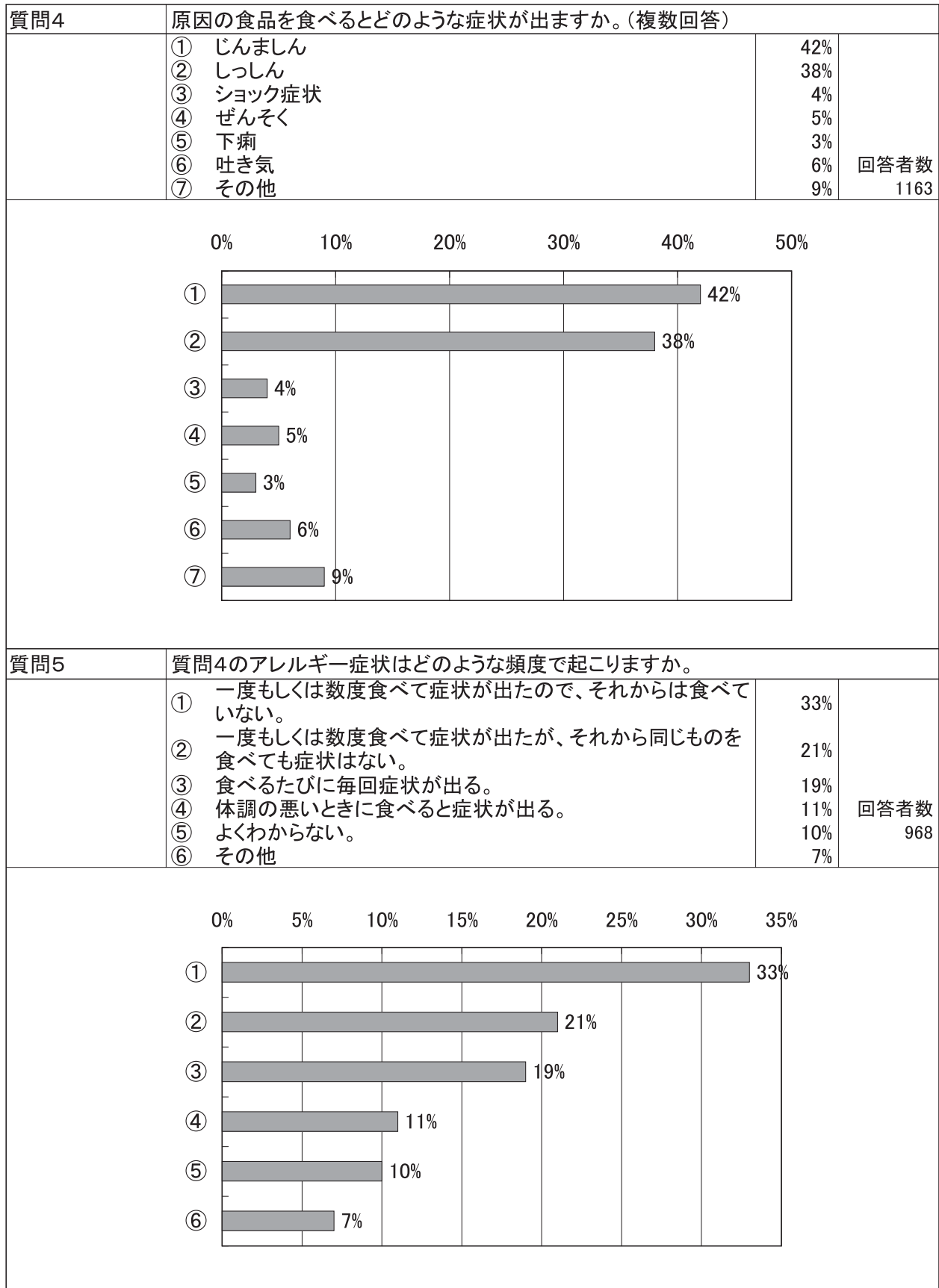
本調査の実施に際し、ご協力いただきました各市町村教育委員会、私立幼稚園、公立幼稚園、保育園、小学校及び中学校の先生方並びにご回答いただきました皆様に心からお礼申し上げます。

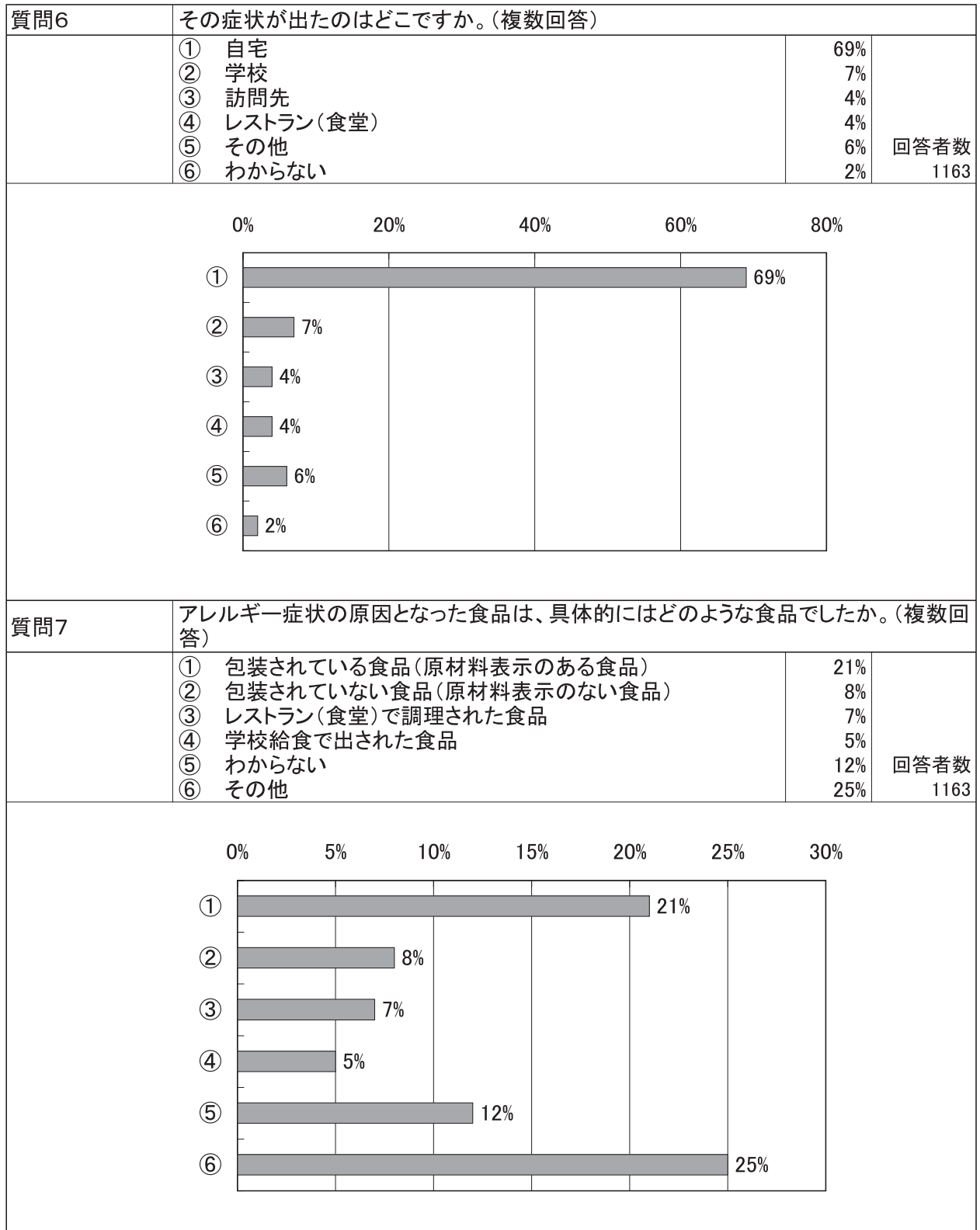
質問1、2	お子様の年代・性別・アレルギー発症時期についてお答えください。(アレルギーを有する子のみ)		
(1)年代	① 園児 ② 小学生 ③ 中学生	73% 22% 5%	回答者数 1163
(2)性別	① 男性 ② 女性	55% 45%	回答者数 1163
(3)発症時期	① 1年以内 ② 1年より前	31% 69%	回答者数 704

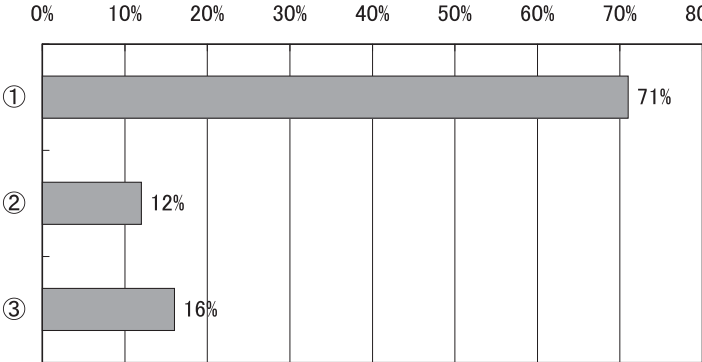
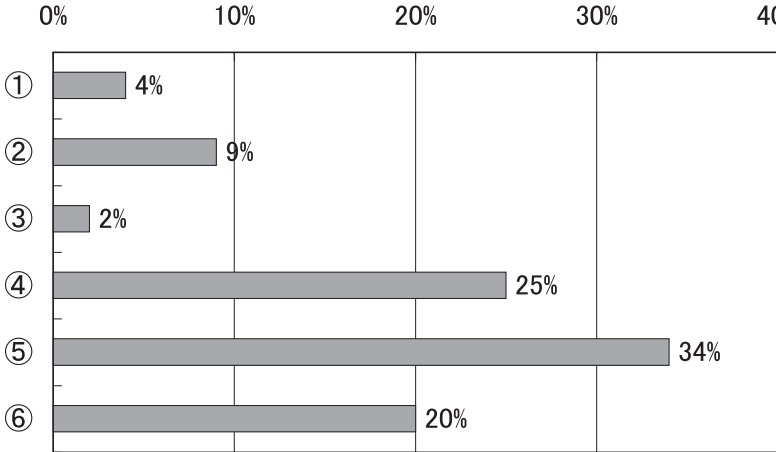


質問3	アレルギーの症状の原因となる食品は何ですか。(複数回答)		
	① 卵 ② 小麦 ③ 牛乳 ④ そば ⑤ ピーナッツ ⑥ 大豆 ⑦ ゴマ ⑧ エビ・カニ ⑨ 魚類 ⑩ 貝類 ⑪ 果物 ⑫ その他 ⑬ わからない	45% 3% 18% 6% 2% 3% 3% 19% 8% 6% 5% 13% 6%	回答者数 1562



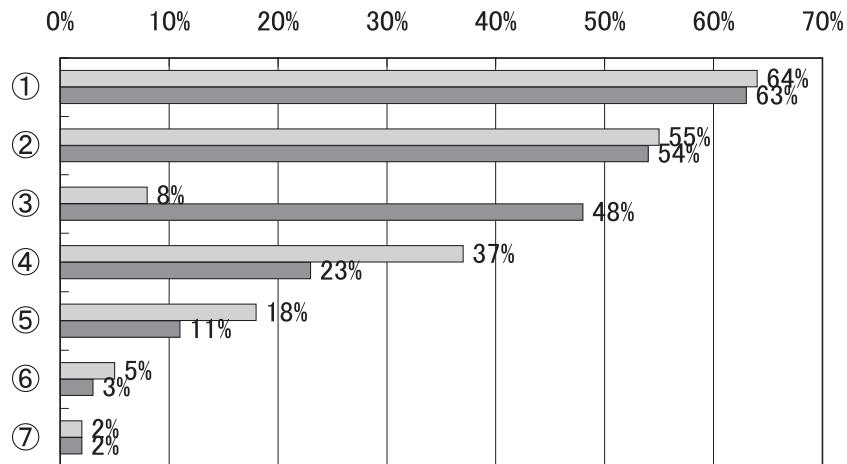




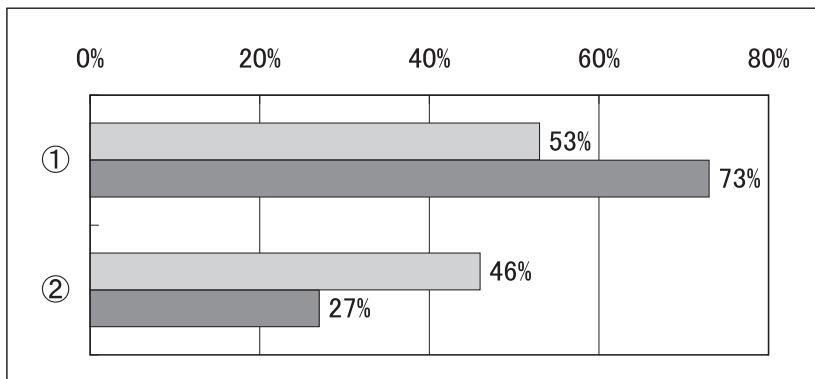
質問8	医療機関で食物アレルギーと診断されましたか。																
	① 食物アレルギーと診断された。 ② 食物アレルギーと診断されなかった。 ③ 受診していない。	71% 12% 16%	回答者数 916														
 <table border="1" data-bbox="511 420 1209 782"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>71%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>16%</td> </tr> </tbody> </table>				回答	割合	①	71%	②	12%	③	16%						
回答	割合																
①	71%																
②	12%																
③	16%																
質問9	お子様の食事について、食物アレルギーに関して気をつけられていることはありますか。(複数回答)																
	① 原材料表示に不安があるため、包装されている加工食品は食べさせない。 ② 原材料の確認ができないため、包装されていない加工食品は食べさせない。 ③ 外食はしない。 ④ 学校給食で除去をお願いしている。 ⑤ 特に何もしていない。 ⑥ その他	4% 9% 2% 25% 34% 20%	回答者数 1163														
 <table border="1" data-bbox="467 1230 1239 1682"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>34%</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>20%</td> </tr> </tbody> </table>				回答	割合	①	4%	②	9%	③	2%	④	25%	⑤	34%	⑥	20%
回答	割合																
①	4%																
②	9%																
③	2%																
④	25%																
⑤	34%																
⑥	20%																

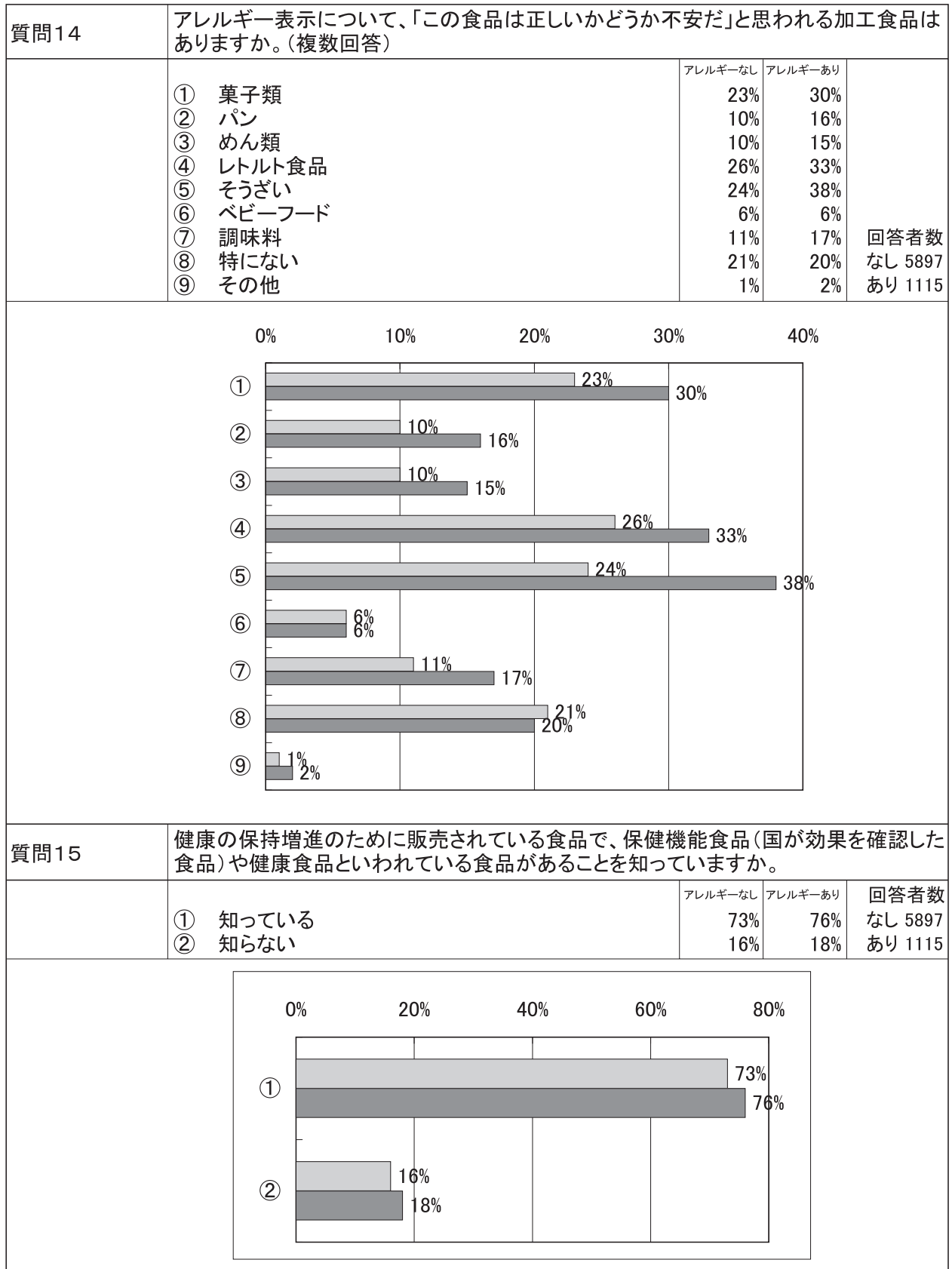
質問10	回答されている保護者の方の年代・性別をお答えください。		
年代	① 20代 ② 30代 ③ 40代 ④ 50代 ⑤ その他	15% 67% 17% 1% 0%	回答者数 7010
性別	① 男性 ② 女性	2% 98%	回答者数 7010
<p>性別</p> <p>男 2% 女 98%</p> <p>年代</p> <p>40代 17% 50代 1% 20代 15% 30代 67%</p>			
質問11	加工食品の表示をよく見ますか。		
	① 必ず見る ② よく見る ③ ときどき見る ④ ほとんど見ない ⑤ まったく見ない	アレルギーなし* 11% 30% 46% 20% 3%	アレルギーあり* 30% 24% 32% 12% 2%
<p>0% 10% 20% 30% 40% 50%</p> <p>① 11% 30%</p> <p>② 30% 24%</p> <p>③ 46% 32%</p> <p>④ 20% 12%</p> <p>⑤ 3% 2%</p>			
*アレルギーなし、アレルギーありとは、それぞれアレルギーの子供をもたない人、アレルギーの子供をもつ人をあらわしています。			

質問12	加工食品の表示をみるときは、どの表示を(何を目的に)見ていますか。(3つまで)	アレルギーなし	アレルギーあり	
	① 主な原材料の表示	64%	63%	
	② 食品添加物の表示	55%	54%	
	③ アレルギーの原因となる食品の表示	8%	48%	
	④ 栄養成分表示	37%	23%	
	⑤ 特に目的はなく、なにげなく見ている	18%	11%	回答者数
	⑥ 見ない	5%	3%	なし 5897
	⑦ その他	2%	2%	あり 1115

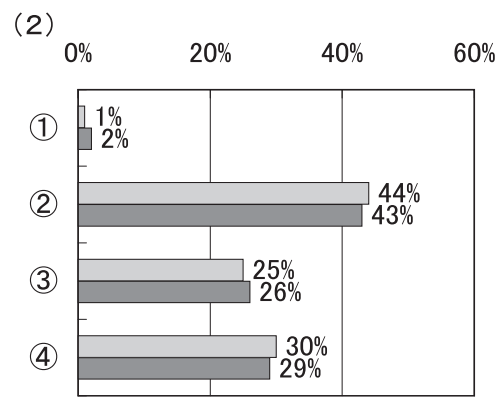
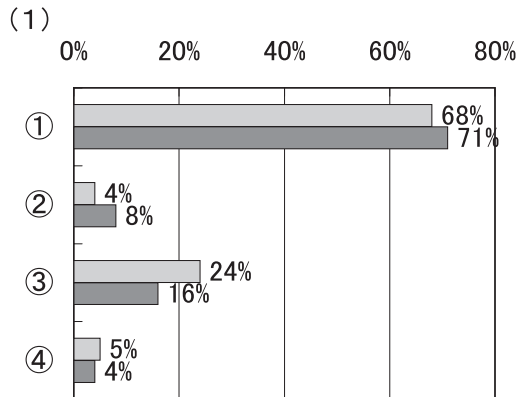


質問13	加工食品の表示制度として、原材料表示の中に食物アレルギーを起こしやすい原材料の表示(以下「アレルギー表示」という)がされているのをご存知ですか。	アレルギーなし	アレルギーあり	回答者数
	① 知っている	53%	73%	なし 5897
	② 知らない	46%	27%	あり 1115





質問16	アレルギー症状を抑える効果をもつ健康食品を利用したいと思われませんか。		アレルギーなし	アレルギーあり	
(1) 利用したい	①	効果がありそうなものは試してみたい	68%	71%	回答者数 なし 5897 あり 1115
	②	すでに利用している	4%	8%	
	③	なんとなく	24%	16%	
	④	その他	5%	4%	
(2) 利用したくない	①	すでに利用しているが効果がない	1%	2%	
	②	健康食品に頼りたくない	44%	43%	
	③	なんとなく	25%	26%	
	④	その他	30%	29%	



(注意)

小数点以下を四捨五入していますので、合計が100%にならないこともあります。